

逆流性食道炎

- ・胸やけがする
- ・酸っぱいものがこみ上げる
- ・苦い水がこみ上げる

こんな症状が続くときは、胃酸や胆汁の逆流が起きているのかもしれませんが。内視鏡をして確かめてみましょう！！

逆流性食道炎(GERD:Gastro esophageal reflux disease)とは

主に胃酸が食道や口腔内に逆流することで食道粘膜が傷ついてしまう疾患です。胸やけや呑酸などの症状を引き起こす方もいますが、無症状の方もいます。近年増加傾向にあり、内視鏡検査で逆流性食道炎の程度(重症度)を見ることができます。食道癌のリスクにもなりますので、注意が必要です。

◆ どんな方がなりやすいの？

逆流性食道炎は、男女比で言うと男性に多いと言われています。また、食道裂孔ヘルニアと言われる胃の粘膜が食道側に飛び出している方、肥満の方、萎縮性胃炎がないもしくは軽度の方に起こりやすいと言われています。

※萎縮性胃炎はヘリコバクター・ピロリ菌の感染とも関連しています。

◆ 逆流性食道炎があると言われたら…？:治療法

生活指導と薬物療法の2つが主体になります。

- 生活指導: 食べてから横になるまで時間ほどあける
減量、禁煙、飲酒を控えるなど…
- 薬物療法: 胃酸の分泌を抑える薬、胃の動きを良くする薬など…

◆ 最後に…

症状がある場合は、市販の薬もありますので飲んでみてもいいでしょう。

症状がなくても食道粘膜が傷ついている場合があります。是非一度内視鏡を！